



第 61 回日本生理学会中国四国地方会奨励賞

山口大学医学部医学科 5 年生

中島 彰子

この度、第 61 回日本生理学会中国四国地方会奨励賞を戴くことができ、誠に光栄に存じます。私は山口大学医学部医学科の 5 年生で、3 年生の時に山口大学独自の「自己開発コース」というカリキュラムをきっかけに研究を始めました。これは、約半年間、研究活動などが行えるコースで、私は分子病態生理学の研究に興味があったので、現在の研究室にお世話になりました。

本研究では、血管の異常収縮のシグナル伝達において、Fyn チロシンキナーゼの下流分子の候補を探索しました。フォーカasd・プロテオミクスの戦略をとり、SPC (Fyn の上流分子) で刺激したヒト冠状動脈平滑筋細胞から抽出したチロシンリン酸化蛋白質を濃縮し、タンデム型質量分析計を

用いて解析しました。その結果、21 種類の蛋白質の同定に成功しました。今回受賞することができたのは、山口大学医学部第一生理学教室の皆様のご指導の賜物です。今後も研究を続け、新しい分子の同定と機能解析を行い、分子標的治療薬の開発に繋がればと期待しています。

今月より病院実習が始まるので、血管病以外の病態生理についても深く学んでいきたいと思っています。

略歴

2006 年 4 月 山口大学医学部医学科 入学。2010 年 5 月現在、5 年生に在籍。